

スプリックスと東京都板橋区教育委員会、 「1人1台端末」の CBT 活用に関する協定を締結

～板橋区内の全小中学校 74 校、20,000 人を超える児童・生徒が『CBT for school』を活用開始～

株式会社スプリックス（本部：東京都豊島区／代表取締役社長：常石博之）は、東京都板橋区教育委員会（教育長：中川修一）と、「1人1台端末」の CBT（Computer Based Testing）活用に関する協定を締結したことをお知らせします。基礎学力・プログラミング・主要教科の理解を評価できる、3つの CBT を学校向けにパッケージ化した『CBT for school』を提供し、板橋区における児童生徒の基礎学力の育成や主体的・対話的で深い学びの充実並びに教育振興にも貢献してまいります。

『CBT for school』公式 Web サイト：<https://foresta.education/cbt>



1. 協定締結の背景

- ・ 2021年9月、板橋区内の小中学校において、基礎学力に特化して評価する CBT「TOFAS」を試行いたしました。本試行を受け、生徒からは「紙のテストよりも楽でやりやすかった」、教員からは「問題作成や採点の負担が削減され、業務軽減につながる」との声が寄せられました。また、板橋区教育委員会、中川修一教育長からは「TOFAS はアセスメントがデータ化された状態ですぐにフィードバックされる。定点観測することで、子どもたちの学びに向かう力にもつながる」とのコメントをいただき、公教育における CBT 活用の端緒となりました。
- ・ 上記を背景に、この度の「1人1台端末」の CBT 活用に関する協定の締結に至りました。

2. 協定の内容

この度の協定は、スプリックスと板橋区が相互に協力し合い、『CBT for school』の利用を通じて、板橋区における児童生徒の基礎学力の育成や主体的・対話的で深い学びの充実並びに教育振興に寄与することを目的としています。本目的を達成するため、次の事項について連携及び協力してまいります。

- (1) 『CBT for school』の利用による「1人1台端末」の活用
- (2) 『CBT for school』の利用による児童生徒の学力向上に関する研究及び検証
- (3) 『CBT for school』の利用による教員の作業負担軽減に関する研究及び検証

News Release

【CBT for school 概要】

スプリックスでは、小中学校などの公教育機関に向けた3つのCBTテストから成る『CBT for school』を提供しています。それぞれのプロダクトの概要は次の通りです。

<CBT for school のプロダクト内容>

①国際基礎学力検定 TOFAS (Test of Fundamental Academic Skills)

計算、英単語、漢字・語いの基礎に特化して評価するテストシステムです。教員による作問や採点は不要である他、児童・生徒の個人成績分析表だけでなく、クラスや学年単位での成績表も用意しており、経年での成績推移可視化にも対応しております。全世界での累計受検者数はのべ25か国・150,000人を超えており、国際基準で学力を評価できることも特徴です。

②単元別テスト

学習塾向け教材フォレストの制作で培った教材開発ノウハウと、TOFASで構築したテストシステムのプラットフォームを融合させることで、新たなCBTシステムを構築しました。これにより、児童・生徒個人だけでなく、クラス別、学校別のテスト結果もデータベースにて集積し、分析結果を現場教員が日頃の授業改善のために活用できます。作問・採点作業のデジタル化により教員の業務負担軽減を実現した他、テスト結果のデータベース化で習熟度の把握・比較を容易にし、業務効率化に貢献いたします。

③プログラミング能力検定

プログラミング能力検定は、全国3,000を超える教育機関で実施されている日本最大級のプログラミング検定です。プログラミング概念の理解度を体系的に分析・評価することができ、それまでの学習成果を証明するとともに、その後の効果的な学習につなげることができます。

本件に関する問い合わせ先

株式会社スプリックス

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザビル 12F

TEL : 03-5927-1681 eMail : info@sprix.jp